

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

ごみ袋無料化の公約は？

ごみ袋の無料化は先の市長選挙における争点にもなり、選挙公約の中でも最重点項目のひとつといえます。しかし、6月議会では実施に対してトーンダウンしてしまった感がありました。そこで、9月議会においてあらためて公約どおり来春から実施するのか問いいただきました。市長答弁は今年度のごみ排出量が増えていることや、6月議会で無料化に反対する議員が圧倒的だったことなどを理由に、結論を先延ばしするものでした。また、1枚60円が高すぎる、と値段を下げても有料化を継続する意向も暗に示しました。

ごみ袋を有料化した2年目は“慣れ”のために、排出量が増える傾向にあるのは全国的な常識です。また、無料化に反対する議員が圧倒的だったとは、私には思えません。ごみ袋を無料化すると排出量が増加してしまうので、反対する議員が多いというなら、市長がすべきことは、議会の反対を理由に公約を撤回することではなく、無料化してもごみ減量を実現させる施策を示すことではないでしょうか。残念ながら、市長からそのような提案はまだなされていません。そこで、私からはごみ袋無料のまま、ごみ減量に成功した横浜市の事例などを引き合いに、市長自らが先頭に立って分別収集の徹底を訴えることの大切さや、戸田市などで行っている生ごみ処理の先進事例も示し、本市にあった施策の導入を訴えました。

ごみ袋を無料に戻してもごみ減量に成功したなら、それは画期的なことであり、市民にとっても行政にとっても喜ばしいことです。市民は市長に対して、こうした今までではできなかった画期的なことをやってくれると、期待しているのだと思います。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技厅（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、現在は経済環境常任委員

9月定例会一般質問より

◆ 市長選挙におけるマニフェストの検証

<質問内容>

マニフェストは市民との契約であり、その達成度の検証も必要である。約70項目にも及ぶ公約について、任期半分の2年で達成度を自己評価し、あしかがみや市のホームページで市民の皆様を示したらどうか。

<市長答弁>

マニフェスト達成度の評価については、年4回の市議会でも市民の皆様にお示しすることになる。任期半分での自己評価については、今後検討してみたい。

◆ 足利赤十字病院移転後の跡地利用

<質問内容>

6月議会では足利赤十字病院移転関連の質問が多くあった。しかし、移転後跡地となる現在地がどうなるかも、今後の本市発展において重要な問題である。現時点における跡地利用の考え方を伺いたい。

<市側答弁>

これまでの議会答弁同様に、土地は足利赤十字病院の所有なので、現時点で市の考え方を示すことはできない。しかし、平成23年7月の全面移転（予定）後から跡地利用が決まるまでの期間はできるだけ短くしたい。また、今後の動向については、地元の皆様にも適宜情報提供を行って不安の解消に努めたい。

★ ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟総会・研修会 ★

8月3日横浜市において、マニフェストサミット2009と題し、第5回ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟総会・研修会が開かれました。私はマニフェスト型の選挙を広めることが、真の民主主義を育てることになると考え、設立当初からこの団体に所属し、活動しています。

マニフェスト推進活動では「お願いから約束へ」といった文言がしばしば使われます。これは選挙において候補者が市民へ「お願いします」と訴える形から、「私は〇〇を約束します」へ変えていこうというものです。私たちは自らが変わるだけでなく、市民（有権者）の皆様にも変化を受け入れていただくよう訴える必要があります。



研修会の様子（真ん中が北川正恭代表）

* 市長マニフェスト・チェックシートを作成 *

選挙が終わり4年も経てば、どのような公約があったかなど、ほとんどの方は忘れてしまうでしょう。だから、これまでの選挙は「あれもやります、これもやります」の公約(口約)でした。しかし、そうした無責任な選挙を続けた結果、800兆円を超える国の借金ができてしまったのです。

マニフェストは事後検証が可能な公約集といえます。マニフェストはそれが示されたときの選挙に使われるだけでは、役目の半分しか果たしていません。残りの半分は次の選挙のときに使われます。前の選挙で示された約束(マニフェスト)がどれだけ守られたのか?有権者はそれをもとに投票行動を決めます。もし、約束が守られていなかったら、次に代わってもらいます。このようにして、政治から無責任やウソを排除していくことが、マニフェスト型選挙の目的のひとつです。

今回は、市民の皆様が市長のマニフェストを評価できるようなチェックシートを作成してみました。市民(有権者)も市長が言ったことを忘れないことが、これからの足利市には必要なことだと思います。

重点項目	H21	22	23	24
1 市長の給与・ボーナス30%カット：500万円/年削減	◎	□		
2 市議会議員の定数削減提案：1000万円×人数/年削減□	-			
3 事業仕分けで役所の無駄をカット：10億円以上/年削減□	-			
4 高齢者の医療費・介護保険料の負担軽減(新日赤への支援)：3億円支出/年	-			
5 ゴミ袋の無料化(有料なんてトンデモナイ)：2億円支出/年□	-			
6 中学校3年生までの段階的な子供医療費無料化拡大：1.3億円支出/年□	-			
7 値下げします。みんなの給食費：0.6億円支出/年□	-			
8 企業誘致と地元企業への資金支援：3億円支出/年□	-			
小計 (◎：3点、○：2点、△：1点、×：0点、3or24点満点)				
所信表明(重点項目以外)	H21	22	23	24
1 予算の組み替え(今年度9月議会上程予定)	-	-	-	-
2 民間委託の検討会設置(民間にできることは民間に)：今年度中に着手	-	-	-	-

⋮

詳細はホームページ <http://www.watarase.ne.jp/orihara/> をご覧下さい。

★ 第10回オープンミーティング ★

※開催日等については、ホームページにてご案内させていただいております。

市民の皆様との直接対話の場として設けた第10回目のオープンミーティングを9月16日に市民会館にて開催しました。今回は議会質問のやり取りを紹介するとともに「マニフェスト型の選挙」について、市民の皆様と意見交換をしました。上記の市長マニフェスト・チェックシートもお配りしました。参加者からは「こうしたチェックを市民みんなでやらなければならない」といった意見も出されました。

織原義明のおもな活動(2009年7~9月)

- 7月5日 平成21年度足利市水防演習並びに夏期点検
- 7月8日 市長との懇談会
- 7月10日 足利市行政改革推進委員会
- 7月15~17日 自治体総合フェア2009(東京)
- 7月21日 全員協議会、議会改革推進協議会、経済環境常任協議会、広報委員会
- 7月22日 あしかが子育て応援ネット 住友生命「未来賞」受賞祝賀パーティー
- 7月23日 足利市環境審議会
- 7月24日 旧西小学校跡地活用についての意見交換会(織姫公民館)
- 7月28日 足利市民の消費生活をまもる委員会
- 7月30日 栃木県市議会議長会研修会(矢板市)
- 8月3日 第5回ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟総会・研修会(横浜市)
- 8月5日 地産地消の店“broom&bloom”視察(小金井市)
- 8月20日 全員協議会、経済環境常任委員協議会
- 8月21日 議会運営委員会
- 8月27日 全員協議会、議員勉強会
- 8月28日 市議会9月定例会本会議
- 9月5日 女と男のフォーラム2009足利
- 9月6日 第7回名草フラワーフェスティバル
- 9月7日 市議会9月定例会本会議
- 9月8日 市議会9月定例会本会議にて一般質問
- 9月14日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 9月15日 決算審査特別委員会(一般会計、特別会計)
- 9月16日 第10回オープンミーティング
- 9月18日 議会運営委員会、市議会9月定例会本会議
- 9月26日 けやき小学校運動会

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

<政務調査費の公開>

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し、年間84万円の政務調査費を交付しています。その収支報告書は、情報開示により閲覧が可能です。

4~9月分合計(暫定)

収入 420,000円 - 支出 327,056円 = 92,944円

<内訳>

研究研修費：29,260円、調査旅費：24,975円、資料作成費：200円、人件費：0円

資料購入費：30,777円、広報広聴費：185,690円、事務費：56,154円、その他の経費：0円

半年間の暫定ですが、昨年度に比べ支出は抑えられています。これは市長選挙と衆議院選挙により、政務調査に時間が割けられなかったことがその理由と考えられます。

政務調査費はしばしば批判の対象になりますが、オープンミーティングにもこれが使われています。ぜひ、ひとりでも多くの皆様にお越しただいて、内容を見ていただければと思っています。

この市政レポートは政務調査費により作成されています。